

青少年 はちのへ



かがみ

青少年健全育成シンボルマーク



【発行】 第99号

八戸市教育委員会教育指導課

八戸市内丸一丁目1-1

Tel 43-2111(内6112)

Fax 47-4997

Eメールshido@city.hachinohe.aomori.jp

令和元年11月20日号

「さわやかな あいさつ」でつながる地域の輪

～心の輪をつなぎ、ぬくもりあふれる街づくりを～

教育・文化に関する国民の理解と関心を深め、その充実、振興を図ることなどを目的とした「教育・文化週間」の実施を受け、八戸市では、令和元年11月1日(金)から11月7日(木)の一週間を「はちのへ教育週間」と位置づけました。

各小・中学校では、「はちのへ教育週間」に、子どもの基本的な生活習慣の確立のための4つの項目(「さわやかなあいさつをする」「返事をきちんとする」「履き物を揃える」「ごみ拾いをする」)に重点を置き、子どもたちが中心となって様々な活動に取り組みました。

また、11月3日(日)の「文化の日」には、湊中学校、三条中学校、下長中学校の3校による「さわやか 八戸 あいさつ運動～街ぐるみ編～」を実施しました。活動場所を地域(湊中学校：陸奥湊駅周辺、三条中学校：八戸駅構内、下長中学校：八食センター前)に移し、子どもたちや教職員、保護者、地域の方々とともに「あいさつ運動」を展開し、地域全体に「さわやかなあいさつ」を響かせました。

令和元年11月3日(日)「文化の日」に開催した
「さわやか 八戸 あいさつ運動～街ぐるみ編～」に参加の皆さん



湊中学校



三条中学校



下長中学校



市内各地域で子どもたちが「さわやかなあいさつ」の声を響かせたことで、地域住民と子どもたちのつながりを深めることができました。

コミュニケーションの第一歩となる「さわやかなあいさつ」を通して、地域住民一人一人が互いに顔見知りになり、互いに声をかけ、活気あふれる安全・安心な地域づくりを推進することによって、子どもたちが周囲の大人の支えや地域の温かさをより強く実感することができます。

今後も、「さわやかなあいさつ」で地域住民一人一人の心の輪をつなぎ、ぬくもりあふれる街づくりを目指し、地域全体で未来を担う子どもたちの健全育成に取り組んでいきましょう。

【お知らせ】

今年度より「青少年はちのへ かがみ」の発行回数を、年3回(7月、11月、3月)から年2回(7月、11月)に変更いたします。

温かい地域に支えられ、夢育むグッジョブ・ウィーク

今年で20年目を迎える「さわやか 八戸 グッジョブ・ウィーク」は、中学2年生を対象に全市立中学校で実施され、今年度はおよそ1800名が参加しています。数日間の職場体験や福祉・ボランティア体験を通して、豊かな感性や創造性ととも自律性を高め、望ましい職業観、勤労観を育むことを目的としています。

また「地域の子どもたちを地域で育てる」という視点で展開されるこの事業は、学校・家庭・地域社会がそれぞれの役割を明確にし、準備段階からの連携が不可欠となります。事業の実施にあたっては、毎年、地域の方々の温かい御理解と御協力をいただいています。

ここでは、八戸ブックセンターで活動した中学生の感想文を紹介します。

将来に生かす

八戸市立豊崎中学校2年 中村 いぶき

私は、今回の「さわやか 八戸 グッジョブ・ウィーク」職場体験に臨むにあたり、笑顔と礼儀を忘れずに、指示されたことを一生懸命やりきるということを心がけました。体験させていただいた事業所は八戸ブックセンターです。私は将来、本に関わる仕事に就きたいと思っていることから、活動中は職場や仕事内容について、「すみずみまで観察するぞ」という気持ちで頑張りました。

1日目は、本のビニールがけをしました。ビニールがすぐとれてしまい、とても難しかったです。それから、発注した本の確認作業も行いました。届いた本の冊数、バーコード番号、値段が合っているかどうかをチェックしました。また、本を全て書架の前のほうに出す事に気を付けて、本の陳列・整頓も行いました。

午後は、中心街の古本屋さんや書店に行きました。古本屋さんや市内の書店と八戸ブックセンターを比較することで、八戸ブックセンターの特徴や書店との違いがよく分かりました。例えば、八戸ブックセンターでは、他店と比べて店内のライトが暗めでオレンジ色になっています。これは、センター内で本を読むことを推奨していることから、お客様に落ち着いて本を読んでもいただくための工夫の一つであることがわかりました。

2日目は読書会の企画作りを行いました。読書会は、八戸ブックセンターのイベントの一つで、センター内の読書ルームでテーマに沿って本を紹介していく企画です。テーマを求めない読書会もあります。このように八戸ブックセンターでは読書に親しむための様々なイベントを企画しています。これらは、参加者についての制限はなく、誰が参加してもよいイベントとなっています。

私たちは、3本の企画を考えました。そして、その後、自分が一押し企画案をポスターにしてみました。私の一押しは、自分がいちばん好きな本を紹介する「マイハニー本を紹介しよう」という企画です。一度に3本も企画案を出すことはとても大変でした。

休館日を挟んだため、2日間という短い体験でしたが、仕事をする楽しさや大変さ、大切さが分かりました。当初から心がけた笑顔と礼儀は、八戸ブックセンターの店員さんたちとの良い関係づくりに役立ったと実感しました。これからも続けていこうと強く思っています。

また、仕事には豊富なアイデアが必要であること、それを生かして、限られた時間の中で一つのものを作り出していかなければならないことを知ることもできました。

私たちの職場体験に際し、たくさんの方が関わってくださいました。貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。この体験を通して、たくさん気づきがあり、将来に生かすべきことを発見することができました。この体験で学んだことを、学校生活をはじめ地域などでのこれからの活動に生かし、自分自身の将来のスキルとしてさらに磨いていきたいです。

○各校とも参加した生徒は、様々な体験の中で多くの発見や感動があったと思います。○
どうぞ御家庭でもお子さんの体験談をお聞きください。



〔写真は、豊崎中学校と第二中学校の今年度の活動の様子です〕